

催吐リスク moderate

腸 mFOLFOX6+PAN6/d1/c14d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間 (分)	投与日(day)
クロルフェニラミンマレイン酸塩	注射	5	mg		1
パロノセトロン	注射	0.75	mg		1
デキサメタゾン	注射	6.6	mg 生食	100 mL 30	1
ベクティビックス	6	mg/kg	生食	100 mL 60	1
レボホリナート	200	mg/m <sup>2</sup>	5%糖液	250 mL 120	1
エルプラット	85	mg/m <sup>2</sup>	5%糖液	250 mL 120	1
5-FU	400	mg/m <sup>2</sup>	5%糖液	50 mL 全開	1
5-FU	2400	mg/m <sup>2</sup>	生食	mL 46h	1-3

内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

投与基準等

Ⅱ. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/mm^3$ 、好中球 $\geq 1000/mm^3$ )

好中球数 $\geq 1,500$ 、血小板数 $\geq 75,000$ 、下痢・口内炎 $\leq$ Grade1、Grade2 以下の皮膚毒性

## Ⅲ. 減量基準 (例: Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

パニツムマブ(ペクティビックス)

Grade3 以上の皮膚毒性発現時、次回より投与量を以下の通り減量

皮膚障害発現時の本剤の投与量	本剤の投与	投与延期後の状態	本剤の用量調節
6 mg/kg	投与延期	6 週間以内に Grade 2 以下に回復 <sup>注)</sup>	6 mg/kg 又は 4.8 mg/kg
4.8 mg/kg	投与延期	6 週間以内に Grade 2 以下に回復 <sup>注)</sup>	3.6 mg/kg
3.6 mg/kg	投与中止	—	—

## Ⅳ. 重大な副作用 (例: 好中球減少 Grade3 以上37.5%)

(以下、PRIME trial より(FOLFOX4 での発現頻度: Grade3 以上)

好中球減少症: 42%、皮膚毒性: 36%、下痢: 18%、神経毒性: 16%

口内炎: 9%、Infusion reaction &lt; 1%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)